

目次

- 1面 会長：あいさつ、副会長：とちぎ大会参加について
- 2面 子どもたちと地域の安全を守るPTA活動
- 3面 コロナ禍におけるPTA活動
- 4面 教育問題委員会活動報告、組織検討委員会活動報告
- 5面 広報委員会活動報告、広報紙コンクールのご案内にいがた早寝早起き朝ごはん 県民フォーラム2020内容紹介
- 6面 三行詩コンクール 入選者発表
- 7面 特別寄稿、年次表彰、いじめ見逃しゼロ県民運動、PTAによる家庭教育支援活動の紹介

新潟県 P T A

No.110

発行 新潟県小中学校PTA連合会
 編集 広報委員会
 〒950-0965
 新潟市中央区新光町7番地2
 新潟県商工会館5階
 Mail ngtknpta@coral.ocn.ne.jp
 ホームページもぜひご覧ください!
 新潟県PTA連合会 検索

新型コロナウイルス感染症が日本に広がり始めて一年が経ちました。PTAにとっては役員人事や新体制への引き継ぎ等で大事な時期に学校が休校になるなど、例年とは違った新年度をスタートすることになりました。いつ終息するか分からず、年間予定されていた会議や行事が次々と延期や中止となり、一年を振り返るとPTA活動が殆どできなかった団体も多かったのではないのでしょうか。県P連も一年を振り返ると、本部役員会、理事会、総会、広報紙セミナー、各委員会活動(広報・教育問題・組織検討)、県P研究大会等、様々な活動に影響がありました。各会議や事業においては、開催の可否判断や開催方法にも苦慮しました。県Pの年間事業として今年度予定されていた「県P研究大会聖籠町大会」も残念ながら中止となりました。これまで準備されていた実行委員会はじめ関係者の皆様には、これまでの活動に敬意を表し感謝申し上げます。また、日本PTA全国協議会においても、「第68回日本PTA全国研究大会富山大会」が中止となったほか、各会議が書面やリモートで行われることにな



巻頭言 コロナ禍におけるPTA活動

会長 板倉 久徳

新型コロナウイルス感染症が日本に広がり始めて一年が経ちました。PTAにとっては役員人事や新体制への引き継ぎ等で大事な時期に学校が休校になるなど、例年とは違った新年度をスタートすることになりました。いつ終息するか分からず、年間予定されていた会議や行事が次々と延期や中止となり、一年を振り返るとPTA活動が殆どできなかった団体も多かったのではないのでしょうか。県P連も一年を振り返ると、本部役員会、理事会、総会、広報紙セミナー、各委員会活動(広報・教育問題・組織検討)、県P研究大会等、様々な活動に影響がありました。各会議や事業においては、開催の可否判断や開催方法にも苦慮しました。県Pの年間事業として今年度予定されていた「県P研究大会聖籠町大会」も残念ながら中止となりました。これまで準備されていた実行委員会はじめ関係者の皆様には、これまでの活動に敬意を表し感謝申し上げます。また、日本PTA全国協議会においても、「第68回日本PTA全国研究大会富山大会」が中止となったほか、各会議が書面やリモートで行われることにな

新型コロナウイルス感染症の影響で、時差出勤や在宅ワーク、リモート会議、社屋の縮小移転等、労働環境にも変化が見られました。企業にとっては感染予防対策としてやむを得ずとった対策であったとしても、これまでを見直す良いきっかけとなったこともあったのではないかと思います。PTAにとっても同様で、前年踏襲となりがちな組織の活動を見直す機会

最後になりましたが、誰もが経験したことのない状況が続いておりますが、一日も早い終息を願うとともに、会員の皆様と子ども達のためのPTA活動に今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



密を避け広い会場で行われた理事会

第52回日本PTA関東ブロック研究大会とちぎ大会 大会のかたちを変え動画配信を中心に開催

令和2年11月14日(土)



関ブロック研究大会とちぎ大会に参加して

副会長 太田 一巳

第52回日本PTA関東ブロック研究大会とちぎ大会が令和2年11月14日、15日と2日間にかけて2,000人規模で開催される予定でした。

コロナ禍ということで富山の全国大会、聖籠町での県P研究大会は中止になりました。

関東ブロック大会だけ中止の連絡の無い中、どうなるのかと思いましたが、開催の連絡が来たときは少し驚きました。2,000人規模での開催ではなく式典のみで各地代表2人という小規模での開催になりました。

11月14日、3時間30分かけて車で会場である栃木県総合文化センターへ向かいました。板倉会長との参加でしたが現地集合、現地解散にしました。私も今年度から県Pの副会長になったので関東ブロック研究大会への参加は初めてでした。300人規模のホールに主催者を含めおよそ50人程度の人数だったと思います。入口での検温、問診等感染対策は十分にできていました。今後の色々な催しの開催に参考になるところがたくさんありました。

セレモニーが始まりご当地ヒーロー那須ライダー、たたみマンのアトラクション、主催者の挨拶、感謝状の贈呈、次年度開催地紹介等、およそ1時間のセレモニーでした。ご当地ヒーローは前那須市P連の会長がやっているのにも驚きました。各学校やイベントにボランティアで活動しているのにも感動しました。楽しんでやっていると素晴らしいです。主催者の挨拶では今回の開催に多くの葛藤があったことも聞きました。何回リモート会議を行い、各学校行事、部活動など大会の中止が続く中、PTAとして何かやれることはないかと考えやめることは簡単、どうやって開催できるか考えることが大切だと思い、自ら課題を見つけ、解決策を考え準備をしてきたと話していました。基調講演、各分科会講演は動画配信という形になりました。今後の新しい形だと思えます。

またこの動画配信は期間中であればPTA会員は何時でもどこでも研究大会の内容を見ることができ、多くのPTA会員の方に発信できると思います。コロナ禍で全国的に新しい生活様式の取組等も聞いています。新潟県の研究大会も中止になってしまいましたが、今後は



会場に多くの方を集めるのではなく動画配信等をし、会場に来られない方にも参加していただける形も有りだなぁと思いました。実行委員長の閉会の挨拶では涙もあり、大変苦労した。最後に式典の中で印象に残るあいさつがありました。日本PTAの副会長が俺たちは偉くないんだ、真摯な気持ちで「組織とはトップダウンではなくトップダウンをし現場に目線を合わせて行くことだ」と話していました。なるほどと思いました。PTA活動、社会でも大事なことだと思います。往復7時間、式典1時間でしたが勉強になることはたくさんありました。今後の県P連の活動にも役立てたいと思います。

関ブロとちぎ大会第1分科会

子どもたちと地域の安全を守るPTA活動

～危険看板設置と地域安全マップの作成～

佐渡市立畑野小学校 令和2年度PTA会長 計良 幸賢/教頭 知野 昌央

1 学校とPTA

佐渡市立畑野小学校は2013年に後山小学校と小倉小学校、旧畑野小学校が統合し、創立8年目を迎える学校です。学区は13地区で構成され、スクールバスも運行しています。教育目標は「やさしく・かしこく・たくましく」。子どもたちの豊かな心作りを中心とし、主体的・対話的で深い学びを実現する教育活動を展開しています。

本校PTA組織は総務会、学年委員会と監査、専門部会である教養部・広報部・育成部・整備部で構成され、35人の方に役員として活動にご協力いただいています。令和2年度PTAの活動スローガンを「協働 ～学校・家庭・地域が育む笑顔と安心～」とし、子どもたちが笑顔で安心して学習できるよう、学校や地域の環境整備に取り組んでいくことに専門事業として重点を置いています。事故の防止や防犯、新型コロナウイルスの感染拡大防止など、子どもたちをとりまく社会環境の急速な変化に対し、家庭や学校・地域が力を合わせ協働することが必要であると考えます。

2 危険看板の設置と地域安全マップの作成

本校PTAは安全を守る活動として2年前より危険看板の設置と安全マップの作成に取り組んできました。子どもたちが主体的に学ぶ教育活動の場において安心で安全な学びの環境でなくてはならないとの熱意のもと、実践されてきた内容を紹介していきたいと思えます。

2018年6月本校学区内で児童の水難事故が発生し、保護者や地域住民、教職員そして仲間を失ってしまった児童は言葉に変えがたい悲しい思いを抱き、これまでの危険箇所を見直し、学区内総点検を行う方針を立てました。PTA役員、教職員は共同で各地区役員の方へPTA一斉危険箇所点検の実施案内と地区内での危険防止への取組をお願いしました。

同年7月、登校班でのPTA一斉危険箇所点検が行われました。雨の中にもかかわらず児童と保護者の皆様で通学路に潜む危険箇所をまとめていただきました。地域の方々からも危険箇所の情報が寄せられ、地区防災会でも危険箇所に囲いをするなど対策に活動していただきました。子どもたちの安全を守るという熱意のもと、危険看板のデザインを一新し、PTA役員の皆様は休日や夜間に集まって看板を作成してくださいました。子どもたちが夏休みに入る前にと猛暑の中、危険看板の設置作業が行われ、短期間での作業日程ながら設置された箇所は130箇所以上に及びました。看板の設置では、地域の皆様、地区役員の方々より特段のご協力を賜りました。

取りまとめられた危険箇所をもとに、家庭でも親子で安全について話し合えるよう1枚のマップとして配布できないかとの構想が始まりました。PTA会長・副会長・教頭の3人は「地域安全マップ研修会」に参加し、子どもたちの安全意識・防犯意識を高める安全マップ作りを学び、製作に取り

掛かりました。2019年度PTA会長ならびに整備部の並々ならぬ試行錯誤と尽力により広範囲に及び学区内の危険箇所を1枚のマップにまとめてくださいました。マップに記載されている印は身近にある注意が必要な箇所、危険箇所であるため「畑野きけんマップ」と題し、各家庭に配布しました。

3 畑野きけんマップの特徴

2018年・2019年に行われたPTA一斉危険箇所点検で取りまとめられたものと、地域の方よりご提供いただいた情報をもとに危険箇所としています。危険箇所は135箇所あり、マップ上に表示しています。危険箇所には危険看板が設置されています。危険箇所の番号につけられた色は危険看板の種類を表示しています。青は川やため池への注意を喚起する「水 あそぶな」。黄色は運転者と登下校中の児童へ注意を促す「通学路 注意」。赤はがけやブロック塀など、見えにくい場所で不審者への注意を意味する「キケン」の看板が設置されていることを表します。危険箇所は畑野小学校ホームページでも画像として閲覧が可能となっています。



事故や犯罪に遭わないため子どもの意識を大切にするとともに、日頃から子どもたちを見守る多くの大人の目が安全・安心に繋がると考えます。

4 成果と展望

危険箇所に設置された看板と配布された安全マップにより情報が可視化され、共有が図りやすくなったことで管理・運営においても学校や地域住民との間に理解が得られるようになりました。安全マップづくりを通して地域課題を抽出し、学校や地域との連携をはかり、協働していくことが必要と考えます。今後は子どもたちへの安全指導にも繋がるより良い安全マップづくりにしていきたいと思えます。

5 本校PTAを取り巻く環境とまとめ

畑野地区青少年健全育成協議会やコミュニティスクールの活動を通じて地域関係機関との連携を図り、明るく元気な住みよい地域づくりを目指すとともに健やかな青少年を育成する活動を行っています。また、地域コーディネーターを中心に学校支援ボランティアの方々にも学校活動に様々なご支援とご協力をいただいております。

子ども、保護者、教職員、地域との関係性が土台となった上で本当に効果的なPTA活動になるのではないかと考えます。また、講習会・研修会への参加など学術活動を通じて学び、より良い活動ができるようPTAも成長していくことで「子どもたちと地域の安全を守るPTA活動」となるのではないかと考えます。

※コロナ禍により動画配信による発表となりましたので、紙面を通じて紹介します。



関ブロとちぎ大会がコロナ禍で盛大に開催することができず、とても残念な気持ちでしたが、動画配信していただいたおかげで大変勉強にもなりました。その中で一番興味があった第3分科会「安全」の講演について感じたことを書きます。

講演の内容は、中野氏と宗像氏による、不登校や引きこもり状態になっている子どもたちの心、環境対策が中心でした。その中で一番印象に残ったのは、過去にいじめにあった宗像氏が、不登校や引きこもりからSNSで共感できる仲間をみつけ抜け出すことができたということでした。SNSはいじめの代名詞のような偏見をもっていたので、なるほどなあと思えました。

と同時に確信したこともありました。心に余裕のある周囲がどんな理論を語り癒やし、ひとときの休息を与えても、最終的な解決には遠いということ。心を休めることはもちろん大切なのですが、いつまでも、どうすれば、こうすればと、その場で足踏み状態から抜け出せずに長引くケースがとて多いいと思います。結局、悩める本人の心や体が、パズルのようにぴったりはまる自分だけの居場所を見つけることが一番の近道なのではないでしょうか。

私自身古い人間ですが、いじめられる側に寄り添うことを大切にして、いじめられる生活環境にも関心をもち、すべての子どもたちが笑顔で繋がることを願う、そんなことを改めて考えさせてくれた講演でした。

関東ブロックとちぎ大会 第1分科会「地域」講演を視聴して

見附市P連 小此鬼 毅

宇都宮餃子会会長 鈴木 章弘氏の講演を聞かせていただきました。我々の食卓にいつも馴染み深い「餃子」。また、誰もが聞いたことがあるのではないのでしょうか「宇都宮餃子」。こちらの歴史、由来からの話になります。

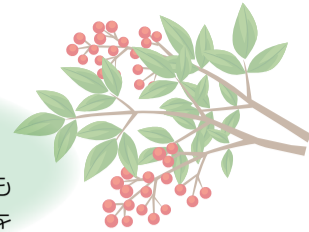
私も何度か宇都宮に足を運び、餃子を食し餃子像を拝見しました。宇都宮餃子はよく耳にし、宇都宮市は餃子の町としても有名ですが、歴史を聞いていくと全国区に名前を知られるようになったのは平成になってからと聞きました。その経緯は市役所をはじめ地域の協力によりメディアを活用し名前を広めたとのこと。只今コロナ禍の中で町は活気を失っており、すが、これまでの逆境を乗り越えていった栃木・宇都宮市は観光・農業・飲食・いろいろいる観客からまた立ち上がった子どもたちに引き継がれるのだと思えました。

第3分科会「安全」講演を視聴して

妙高市P連 宮越 元樹

コロナ禍におけるPTA活動

昨年度末から続いている新型コロナウイルス感染症の影響で、様々な活動が制約を受けています。PTA活動も例外ではなく会合等が書面決議となったり、行事が中止となったり大きな影響を受けました。そんな中、工夫をして活動を行った郡市PTA連合会の取組を紹介し、今後の活動の参考に、ぜひ一読をお願いします。



市P連カフェ

柏崎市小中学校PTA連合会

通常5月に市P連評議員会が開催されます。本年はコロナ禍により中止と致しました。評議員会では約200人が集い、各単P会長が初顔合わせの機会でもあります。顔合わせができないことは、1年の始まりとして大きな痛手となります。

柏崎市P連として何かできないかと思案した結果、「市P連カフェ」と称し各単P会長全35人を7回に分けて、座談会形式での開催としました。

活動の有無、悩みや進捗状況など活発に話し合いました。Webなどでは感じることのできない熱量で、有意義な時間となりました。



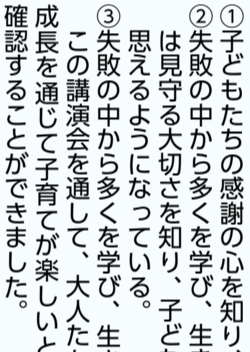
市教育委員会との懇談会

小千谷市PTA連合会

小千谷市P連では、子どもたちの健全な成長のために、市教育委員会との懇談会を催しています。

今年度は感染症対策を十分に講じ、十月に実施することができました。松井教育長、長谷川学校教育課長から、最近の教育の動向や家庭での学習支援の在り方、GIGAスクール構想に向けた市の取組等についてのお話をいただきました。

その後、「家庭での学習支援」をテーマに、グループ討議を行いました。参加者からは、「子どもがいつでも相談できるよう、口頭から子どもの声を傾聴すること」や、「子どもの自主性を育てるためには、待つ姿勢が大切である」など、様々な意見が交換されました。また、「保護者自身がタブレットの使い方を学ぶ」ことや、「現在の教育に関する状況や課題に関心をもち、学校を支援していくこと」など、GIGAスクール構想の推進に向けた家庭での取組に関する意見も多く聞かれました。



オンライン講演会「弁当の日と子育て」

阿賀野市PTA連絡協議会

阿賀野市P連教養部では、コロナ禍でも、講演会を開催できないかと協議を重ねました。NPO法人「食農ネットささかみ」の協力のもと、講師として『子どもが作る「弁当の日」』提唱者の竹下和男様をお招きし、オンラインで講演会を開くことにしました。

また、環境が整わない希望者には、笹岡小学校を会場にしてパブリックビューイングを行い、当日は、54人の参加がありました。

①子どもたちの感謝の心を知り、自己肯定感が育まれる。
②失敗の中から多くを学び、生きる力を身に付けている。大人たちは見守る大切さを知り、子どもの成長を通じて子育てが楽しいと思えるようになっていく。
③失敗の中から多くを学び、生きる力を身に付けている。この講演会を通して、大人たちは見守る大切さを知り、子どもの成長を通じて子育てが楽しいと思えるようになっていくことを再確認することができました。



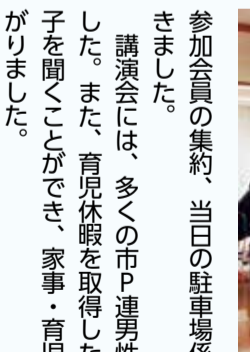
市P連研究大会

胎内市PTA連絡協議会

令和二年度は、書面協議により総会を行い、懇親会もできないまま新体制がスタートしたため、こんな状況で無事に事業ができるのか不安でした。

しかし、役員同士の団結力はいつも増して強く、コロナ禍にあってもできることはないかと知恵を出し合い、その方法をみんなで探りました。その結果、感染予防対策を徹底し、参加人数を制限しての講演会であれば安全に開催できるとの結論に至りました。

講演テーマは「メディアコントロール」で、子どもたちに人気のゲームの実態や他者との繋がり方、そこに潜む危険性と予防対策を、講師の実体験も織り交ぜつつ数多くの実例や動画で教えていただきました。自宅で過ごすことが増え、子どもがスマホやゲーム機を使用する姿が目につくようになり、子どもが「何をしているのか分からず不安」という保護者にとって有意義な講演会となりました。



イクメン・カジダンのススメ講演会

佐渡市小中学校PTA連合会

コロナ禍で様々な事業を中止せざるを得ない中で、佐渡市小中学校PTA連合会では「工夫をしても実施したい。ただし、無理はしない」という方針を共有して活動してきました。

しかし、例年、行政と共催して行っていた教育支援事業が中止となり、他に何かできることはないかと社会教育課や市役所の各部署と相談しました。その結果、佐渡市が主催する「イクメン・カジダンのススメ講演会」を共催事業としてできることになり、市P連として島内小中学校会員へのチラシ配布、

参加会員の集約、当日の駐車場係や受付担当として協力することができました。講演会には、多くの市P連男性会員の方々より参加していただきました。また、育児休暇を取得した方とリモートで結び、直接実際の様子を聞くことができ、家事・育児等への参画意識を高めることにつながりました。



夏に負けるな！ひまわりDDE応援プロジェクト

聖籠町PTA連絡協議会

コロナ禍で、県P研究大会が中止となりました。開催地として準備を進めていた聖籠町PTA連絡協議会では、計画を変更して、こんな時だからこそできる活動は何か？を考えました。夏休みが短くなった影響で、お盆明けの暑さが厳しい中を通学する子どもたちに、笑顔になってもらおうと、「夏に負けるな！ひまわりDDE応援プロジェクト」を計画しました。

芽が出たばかりの「ひまわりプランター」を、各校に設置し、各校のPTAが水やりの計画をたて、お盆中も休むことなく毎日続けられた結果、全校無事に満開のひまわりを見せることができました。町Pの主管校である聖籠中学校PTAでは、手作りノートを設置して、ひまわりの成長の様子や生徒への応援メッセージを書き込みました。生徒からのお礼も書かれていて、心が温まる特別な活動になりました。

教育問題委員会活動報告 SNSやメディアとの適切なつきあい方

教育問題委員長 田邊 修一

教育問題委員会では、コロナ禍により家庭で過ごす時間が長くなる中、これまで以上にSNSやメディアとの適切なつきあい方が大切になると考え、県内各学校、地域で行われているSNSやメディアに関する取組を取りまとめ、情報提供するべく情報収集を行いました。委員会の活動で収集した情報を紹介しあう中で、各学校、地域で様々な取組が行われていることが分かり、自分たちの取組を見直すよい機会となりました。この広報紙をお読みの皆さんも紹介した取組を参考に、ご家庭での取組を見直しただけであれば幸いに存じます。なお、紙面の都合でいただいた情報すべてをご紹介できません事をこの場をお借りしてお詫び申し上げます。

上越市 頸城中学校区の「生活コントロールチャレンジ週間」の取組

頸城中学校区の学校では、子どものよりよい生活習慣作りを目指し、学期1回の「生活コントロールチャレンジ週間」を実施しています。「メディアシャットダウン」「歯磨き」「早起き」「運動」の観点の中から、2項目について1週間努力する目標を決め、振り返っていく活動です。今年度は、各学期「メディアシャットダウン」の項目は必ず設定し、メディアコントロールの力を育むように取り組んでいます。

この取組の基盤となるのが、「頸城区版望ましい生活リズムの子ども」です。家庭のどこかに掲示し、いつでも確認できるようにしています。継続することで、子どもや保護者に意識が少しずつではあるが高まってきています。

糸魚川市 小学生の電子メディア心得5か条

糸魚川市の小学校では、全保護者に「電子メディア心得5か条」を配付してSNS対策に取り組んでいます。

- ①利用時間をしっかり守ります。
- ②親と相談して使います。
- ③ネット上に人の悪口は書きません。
- ④自分や他人の写真や動画を勝手にのせません。
- ⑤相手がいやな気持ちになる言葉はつかいません。

長岡市 「長岡市P連ルール」の取組

2019年度版 改訂 長岡市P連ルール【小学校版】

- 第一条 午後9時以降、ゲームをさせない
- 第二条 ゲームは、1日60分以内とさせる
- 第三条 ゲーム機やカードの貸し借りはさせない

【中学校版】

- 第一条 午後10時以降にSNSを使用させない
- 第二条 食事中は使用させない
- 第三条 相手を傷つけない表現方法を家庭で指導する

柏崎市 柏崎地区中学校メディア共同宣言

柏崎地区中学校メディア共同宣言を受けて以下のようないくつかのメディア宣言を生徒総会で提案しています。「自分の言動に責任をもとう」

- ①無責任な発信はやめよう 「〇〇がいてたんだけど」「噂で聞いたんだけど」といったことを発信しない。また仮に受け取っても信じ込まず、その内容の発信はやめよう。
- ②時間帯ややり取りの頻度を考えよう 自分勝手なやり取りを避けよう、また、他人の時間を束縛したり、奪ったりすることはやめよう。

加茂市 若宮中学校生徒会 「SNS利用の約束」

- 1 健康を守ろう
 - ・情報発信は夜9時までにして。機器を使うのは10時までにして。
 - ・食事中、勉強中はSNSやインターネットが使えない環境を自ら作る。
 - ・使用時は明るい場所で画面から目を離そう。
- 2 友情を守ろう
 - ・人の悪口や不愉快になることを絶対に書かないようにしよう。
 - ・送信前に書いた文意を見直そう。
 - ・返信が遅れても責めないようにしよう。
 - ・大事な用件は相手に会って自分の口でしっかり伝えよう。

3 プライバシーを守ろう

- ・許可なく他人の写真や動画を載せないようにしよう。
- ・個人情報を絶対に載せない、教えないようにしよう。
- ・玄関に貼れないものはSNSに載せないようにしよう。
- ・フィルタリングサービスの利用を積極的にしよう。

燕市 燕北中学校区「こまき」元気アップ週間

「こ」小中川小学校「ま」松長小学校「き」燕北中学校 燕北中学校区の3校合同で【早寝・早起き】【朝ごはん】【メディアコントロール】を柱に自分の生活を見直し健全な成長のために必要な基本的な生活習慣の確立を目指すために行っている取り組みです。取組期間に「こまきのやくそく」と称しメディアに関しては、「寝る時間の1時間前にはメディア機器の使用をやめる」と取り組み内容を定めています。こまき保健だよりで取り組みの検証を行い、元気アップの実践ができないことがもたらす健康への被害を保健だよりで分かりやすく解説されています。

阿賀町 「パワーアップ週間」の取組

家庭学習の時間の確保とともに、生活習慣やメディアとの付き合い方を考える週間として、阿賀町の小学校全体で取り組んでいる活動です。以下の3つの約束を達成できるように、児童生徒自身で生活の計画を立てて、パワーアップ週間の1週間を過ごします。パワーアップ週間がんばりカードを用いて、目標が達成できているか毎日確認します。年間2回実施します。<パワーアップ週間中の3つの約束>

- ①目標の学習時間の達成
- ②メディア使用時間は1日2時間以内
- ③就寝前1時間は、メディアの使用を控える

子どもたちの成長は早いもので、小学校に入学し6年間が長いと思いきや、あっという間に過ぎ、中学校の3年間は一瞬のように過ぎ去ります。子どもと一緒に学校での活動ができる時間は限られています。そんな貴重な時を家庭では見られない子どもたちの姿を近くで見られる、そして楽しく活動できるように各都市P



子どもたちの成長は早いもので、小学校に入学し6年間が長いと思いきや、あっという間に過ぎ、中学校の3年間は一瞬のように過ぎ去ります。子どもと一緒に学校での活動ができる時間は限られています。そんな貴重な時を家庭では見られない子どもたちの姿を近くで見られる、そして楽しく活動できるように各都市P



最後に全校生徒からお礼を言われると、胸が詰まる思いになります。胸が詰まる思いは、学年問わず普段交流のない父親同士が集まる、とても良い活動だと思えます。

是非、PTA活動への積極的なご参加を宜しくお願い致します。

「できる限り役員にはなりたくない、知識のある方がやればいい」こんな声を耳にしたことがあるのではないだろうか？そもそもPTAは何をやっているのか分からないから不安という声もあると思います。安心して下さい。知識のある方、何をやっているのか分かる方はほとんどいません。1〜2年役員を経験し、年に数回集まっているだけで分かるほうが無理だと思えます。PTAはそんな方たちの集まりです。だからみんなが知恵を出し合い協力し子どもたちのために皆さん活動しています。

学校の集まりは何かと母親が中心になっている傾向があります。もっと父親も気軽に参加して欲しいということから「おやじの会」を立ち上げ活動しているところもあります。年に4回程度、休日の早朝1時間だけ集まり、サツマイモの苗を植え、収穫しこれを文化祭当日に子どもたちに焼き芋にして振る舞っているそうです。食べている子どもたちの笑顔を見てホッとし、

今年度は、新型コロナウイルスの影響で思うようにPTA活動ができていない状況です。そんな中でも感染拡大しない様、3密を避け工夫しながら活動しているところがあります。ある中学校では毎年合唱コンクールを開催しています。ですが今年集まるのが困難なため、PTA二役の方が中心に、教職員の皆様からご協力をいただき、

今年度は、新型コロナウイルスの影響で思うようにPTA活動ができていない状況です。そんな中でも感染拡大しない様、3密を避け工夫しながら活動しているところがあります。ある中学校では毎年合唱コンクールを開催しています。ですが今年集まるのが困難なため、PTA二役の方が中心に、教職員の皆様からご協力をいただき、

組織検討委員会では、今年度、各都市で行われている「真似したくなる活動」や「特色ある活動」を集め、PTAに対するイメージをより良くしていきたいと考え、3回に渡って話し合いを重ねてきました。

連の方たちは取り組んでいいます。とあるPTAでは世の中の働き方改革を考慮し、保護者、教職員の皆さんの負担が軽減するような活動がしたいという思いから専門部を廃止したところもあります。これで集まって決めることが少なくなり、また専門部が担当していた校舎の美化活動は子どもたちに引き継ぎました。自分たちが使っている校舎は自分たちで、綺麗になっていく様子を見て楽しく活動しているそうです。

最後に全校生徒からお礼を言われると、胸が詰まる思いになります。胸が詰まる思いは、学年問わず普段交流のない父親同士が集まる、とても良い活動だと思えます。

今年度は、新型コロナウイルスの影響で思うようにPTA活動ができていない状況です。そんな中でも感染拡大しない様、3密を避け工夫しながら活動しているところがあります。ある中学校では毎年合唱コンクールを開催しています。ですが今年集まるのが困難なため、PTA二役の方が中心に、教職員の皆様からご協力をいただき、

組織検討委員会活動報告

敷居は高くはないけど、えらく高く見えているPTA!!

組織検討委員長 小林 勝弘



今年度は、新型コロナウイルスの影響で思うようにPTA活動ができていない状況です。そんな中でも感染拡大しない様、3密を避け工夫しながら活動しているところがあります。ある中学校では毎年合唱コンクールを開催しています。ですが今年集まるのが困難なため、PTA二役の方が中心に、教職員の皆様からご協力をいただき、

広報委員会 活動報告

広報委員長 徳橋 和人

今年度は「コロナ禍におけるPTA活動はどうあるべきか」を考えさせられた一年でした。例年の取組が例年通りにいかず、新しい取組を考えなくてはならぬ、やり方を変えておこなったところ、やむを得ず中止したところなど、様々な形でPTA活動が進められました。広報紙においては、この状況下でおこなった取組はできるだけ満遍なく紙面に残すよう配慮しました。

第109号では、五泉中学校の五十嵐校長先生から「コロナ禍における学校生活」と題し、保護者から声があがった心配事にQ&Aの形で答えていただき、紙面で共有を図りました。

第110号(本号)では、各都市PTAの活動の中から「コロナ禍の取組」として6市町村の好実践を紹介しました。現在も感染拡大が続いている状況ですが、これらの実践例を参考にしながら来年度のPTA活動を進めていっていただければと思います。また、三行詩コンクールの入賞作品は受賞者すべてを掲載しました。緊張やストレスがかかる毎日ですが、三行詩の力作を見てほっこりしていただけただら嬉しいです。

最後に、原稿依頼にご快諾いただいた皆様、広報委員の皆様へ感謝申し上げます。活動報告とさせていただきます。

第19回新潟県PTA 広報紙コンクールのご案内

県P連では、PTA広報活動の活性化を目的に広報紙コンクールを開催しています。

●応募方法・応募締切

令和2年4月から令和3年3月までに発行された単位PTA広報紙のすべての号をセットにして、2部、県P連事務局に送付してください。

応募締切 令和3年3月29日(月)必着

●審査方法・基準

1次審査・2次審査で、最優秀賞・優秀賞・奨励賞・佳作の各賞を決定します。日本PTA広報紙コンクールの審査基準を参考に、PTA広報紙のもつ目的・使命・記事・編集・レイアウト・見出し文などを総合的に審査します。

※詳しくは、1月下旬に各都市P連事務局を通じて各単位PTAに配信された実施要項をご覧ください。

にいがた早寝早起朝ごはん 県民フォーラム2020

令和2年11月22日(日) 新潟ユニゾンプラザ

今年度の県民フォーラムは、「早寝早起朝ごはん」をテーマに開催されました。当日のプログラムの中から、PTAによる実践発表と基調講演の内容を紹介します。

見附市立田井小PTA 「保護者・子どもたちで取り組む『メディアコントロール』」

胎内市P連 伊東 崇

見附市立田井小学校PTA櫻井会長、石井副会長、外山校長の3人による、「保護者・子どもたちで取り組む『メディアコントロール』」と題した実践発表では、PTA運営委員会を中心とした、家庭を巻き込んだポスターづくりなどを通して、児童の8パーセントがテレビやゲームの時間を決めるようになり、また、保護者の68パーセントも自分の子どもがしっかりとメディアコントロールをしていると感じるようになるなど、確実な成果をあげていることがうかがわれました。

また、取組3年目の成果といえる親子で考えて作成したクリアファイルは、「メディア」とのつなげよう「目の前のそのクリックでトラブルに」など、メディアコントロールに関する標語・ポスターや、「帰ったら手洗いがいかせない」「心の中で手をつなごう」といった、コロナ禍における新しい生活様式を取り込んだ家族や友だち呼びかけのようなやさしさ溢れる標語・ポスターも紹介され、家族や友だちと過ごす時間がとても大切なものだと切実に感じる今、見る人すべてがホッと、幸せな気分となり、そして家庭での啓発資料としても役立つ素晴らしいものといえます。

コロナ禍でPTA活動が自粛される中、「自分の学校でも取り組みたい」と思う、とても参考となる実践発表を聞くことができま



燕市立燕南小PTA 「脳を育てるみんなの眠育」

五泉市P連 亀山 拓永

「眠育」とは文字通り、健全な発育には睡眠が必要だということに理解していましたが、燕南小PTAの取組はただの啓発にとどまりません。「眠育カード」に睡眠・起床の時間を書き込み、グラフ化・分析もします。例えば平日は問題ありませんが、週末は夜更かしやダラダラした生活を送ると、グラフがどこに問題があるのかを可視化してくれます。頭ごなしに怒ると、グラフを材料に話し合うのではその効果はだいぶ違うものだと思います。

実践発表では「目標の具体化」という言葉を使われていました。低学年にも親しみやすくなるように、その眠育の原因ごとに「オリジナルキャラクター」を生み出して「眠育」を小さなところから実践していることは素晴らしいと感じました。実際の脳の発育というところで、勉強・スポーツ・心の成長についても評価していくとさらに奥深い取組になるのではないかと感じました。また、コロナ禍でイベントに制限を受ける中、児童保健委員会が中心となり「眠育スタンプリリー」を開催したそうです。「眠育」をテーマに、ご家庭と学校がうまく連携されている一例との印象を受けた燕南小PTA実践発表でした。



基調講演

「コロナと向き合う食育」

講師 竹下 和男様



11月22日、新型コロナウイルス感染症対策を十分にとった中、講演会に参加してきました。竹下先生の紹介の後、「はなちゃんのみそ汁」のスライドショーから始まりました。

お母さんは、はなちゃんを産んですぐ乳がんになり、はなちゃんはお母さんの為に小さいころからたくさんお手伝いをしていました。でも、危ないからという理由でお母さんは料理を教

えていかなかったのですが、徐々にががが悪化していくので、はなちゃんを台所に立たせることを決意します。4歳の時に料理を一緒に教え始め、5歳から本格的に教えました。しかし、その5か月後、お母さんは亡くなってしまう。その後もはなちゃんは料理を作り続け、仕事から帰ってくるお父さんの為に晩御飯とみそ汁を作るようになります。

たくさん役割を与えられたはなちゃんは何でも楽しんでできる子に育ちました。はなちゃんのようにお父さん、お母さんに愛された子は素敵な大人になって

いきます。

ある講演会で「はなちゃんのみそ汁」を見た中学1年生の女子は号泣します。自分も帰りの遅い母に晩御飯を作られていて、すごく嫌だった。でも本当はチャンスをもらっていたことに気づきました。その子の母親も自分中心の子育てをしていたと号泣しました。お互いに感謝が大事だということに気づきました。

現在、コロナ禍で中高生の妊娠が増えてきているそうです。それは心が寂しいからだと思えます。どの子も親の手料理を食べたことがなかったのです。食べ物体を育て、食べ方で心が育つのです。「子育ては楽しいー」

私も生活の中で面倒なこととは自分でやってみようが、ちなところがあります。今回、竹下先生の講演会を聞き、少しゆっくり子どもの話を聞いたり、一緒に料理をしてみたいようと思えます。まずは楽しんで子どもたちと生活していこうと思えます。

(交責 阿賀野市P連 倉島 啓生)



令和2年度 新潟県三行詩コンクール 入選者

「たのしい子育て全国キャンペーン」

～家庭で話そう！我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ～

応募数：小学校 86点 中学校 288点 一般 24点



小学生



県P連
最優秀賞

田上町立田上小学校 5年生 古田 大樹
 コロナで会えないひいばあちゃんに
 ぼくが元気をあげようと思うのに
 ばあちゃんの「ありがとうね」の一言で
 ぼくが元気をもらってる

田上町立羽生田小学校 5年生 諸橋 直
 ぼくはビタミンC
 兄ちゃんはカルシウム
 パパとママはエネルギー
 うちは栄よう満点だ

阿賀野市立神山小学校 4年生 坂井 乙葉
 宿題を 教えることにむかになって
 料理をこがしているよ
 お母さん

田上町立羽生田小学校 2年生 布施舞心衣
 お兄ちゃん、ならいごと
 今日よるごはん
 私がいっぱい話せる日

田上町立羽生田小学校 1年生 大関 萌衣
 はずかしくていえない「ごめんね」を
 てがみにかいてわたしたよ
 「ママきのうはごめんね。
 だいすきだよ」



中学生



県P連
最優秀賞

魚沼市立小出中学校 3年生 佐藤 蓮
 女手一つで二人と一匹
 たまには休めよ
 オレの母

魚沼市立小出中学校 2年生 青柳 潤也
 生まれかわっても
 お母さんの子になりたいと
 心の中でそっと思う

魚沼市立小出中学校 1年生 貝瀬 颯愛
 ステイホーム みんなが家の中
 外に出れない「お家時間」
 いつもは、はなせない家族との
 「大切な時間」

田上町立田上中学校 1年生 佐藤 煌恭
 心がどんなに辛くても
 家族に話せばすぐ治る
 家族は心のお医者さん

魚沼市立小出中学校 1年生 三友 さら
 お母さん
 毎日足もんでってうるさいです
 だけど断りきれなくて
 結局従い 母の勝ち



一般



県P連
最優秀賞

長岡市立豊田小学校 小出 里江
 子育てを
 やってるつもりが
 親育て

魚沼市立小出中学校 荒井 英恵
 毎日炊く 7合飯
 家族の健康バロメーター
 足らずに炊き直す 母のにやけ顔

中越地区 中丸 瑠美
 息子の「ほっといて！」にひそむ
 自立心
 信じて見守り、
 身につく親の忍耐力

田上町立羽生田小学校 大関 友香
 我が子の眠る顔
 見ては「あの日」を思い出す
 “今”この一瞬はもう戻らない
 “生まれてくれて ありがとう”
 そっと抱きしめる

魚沼市立小出中学校 塚田 留美
 反抗期 飛び交う言葉 聞き流し
 声かけてくれて ありがとう
 本当は知ってる 優しいあなた
 もうしばらくは 辛抱するよ

※今年度は入選した全作品を紹介させていただきました。また、以上の作品は、日本PTAへ推薦いたしました。多数ご応募いただき、ありがとうございました。 ※敬称略

特別寄稿

「30人以下学級等の実現」

署名協力の御礼と今後の展望
教育をよくする新潟県民会議 代表 横山由美子

こんにちは。教育をよくする新潟県民会議の共同代表を務めています横山です。新潟県小中学校PTA連合会の皆様には、2017年度から協賛団体として30人以下学級の実現や教育予算増額等を求める署名活動にご協力いただきありがとうございます。この場をお借りして、心より感謝申し上げます。

さて、すでに報道されている通り、国で法改正を伴う「35人学級の段階的な実施」が進められています。2011年に小学校1年生で35人学級となりましたが、小学校一律の引き下げは40年ぶりです。このこと自体は大きな前進です。けれども、いくつか心配な点もありません。

まず、国と県の動向を確認しましょう。国においては来年度に小学校2年生を40人学級から35人学級に変更し、その後学年ごとに順次引き下げ、2025年度には6年生が35人学級となる予定です。新潟県においては、全国に先駆けて県独自に2001年度から小学校1・2年生の32人学級を実施しました。その後、2015年度に小学校3年生、中学校3年生の35人学級(下限25人)が実現し、2020年度からは小学校3・4年生の下限25人が撤廃されています。「下限とは対象学級に必要な最小人数の基準のこと、35人学級(下限25人)であれば35人以下に分けても1クラス

子に育てようと思つたら、周りのお友達もいい子に育つようにしないといけないよ」という言葉が忘れられません。子どもにとって友人はお金では買えない素晴らしい存在であり、自分とは違う意見の友人と共に成長できる関係を築くことは大きな財産になることではないでしょうか。また、辛い思いをしている子どもたちがいるならば、声をかけてくれる大人が周りにいることが救いになるはずで

す。よりよい教育環境の充実には、子どもたちの健やかな成長の面からも欠かせないのです。皆様にご協力いただいた30人以下学級の実現等を求める署名は今年度8万3千筆(追加提出を含む)が集まり、先日、県議会に提出しました。ここ数年で最高に迫る筆数となりました。たのは皆様のおかげです。残念ながら不採択となりましたが、今後

祝 令和2年度 年次表彰

とき：令和2年11月27日(金)
ところ：灘尾ホール(東京都千代田区霞が関)

PTA活動で、毎年優れた業績を有する団体や個人が、新潟県教育委員会や新潟県小中学校PTA連合会から推薦され、表彰されています。今年度は、次の団体・個人の皆様が表彰されました。おめでとうございます。

優良PTA文部科学大臣表彰

- 柏崎市立枇杷島小学校PTA
田上町立田上小学校PTA
妙高市立斐太北小学校PTA
上越教育大学附属小学校PTA

日本PTA全国協議会会長表彰

- 柏崎市立枇杷島小学校PTA
十日町市立貝野小学校PTA

団体表彰

- 太刀川 歩 美(長岡市立東中学校PTA)
白倉 基 宏(前燕市立栗生津小学校PTA)
山崎 謙 徳(前柏崎市立鱈石小学校PTA)
廣井 信 彦(前見附市立西中学校PTA)

(敬称略)



10月23日 @FM新潟サテライトスタジオ ラジオを通して教育現場の実情を訴えました

編集後記

催しや活動が中止や延期となるなか、様々な課題を乗り越え開催、活動を展開された各団体の皆様の熱意や工夫はすばらしいと感じました。いつも通りといかないことに、後ろ向きに考えてしまいがちですが、「今できること、今すべきこと」を行うことの大切さを改めて実感しました。この経験が今後の活動にいかされ、その精神が子どもたちへと受け継がれてほしいと思います。

(広報委員 古藤嘉一)

PTAによる家庭教育支援活動の紹介

～令和2年度PTA家庭教育啓発支援事業～

県では、家庭教育支援活動に取り組むPTAを支援しており、今年度は2団体が下記のような取組を行いました。

1 糸魚川市立西海小学校PTA
「西海小学校のアウト・メディアの取組」

全保護者を対象に、メディア利用の悩みについてのアンケートを行い、問題点を集約した寸劇を「親・子ども会議」でPTA総務委員が熱演し、問題提起しました。それを踏まえ、子どもたちは課題や改善策を話し合い、その後家庭での話し合いの結果、「我が家のルール」を決定しました。



メディア強調週間を設定し、メディアカードを活用して取組を行い、親子で意識を高めました。

2 佐渡市両津中学校区PTA
「両津中学校区で取り組むメディアコントロール
～ICT機器の善き使い手になるために～」

リモートでアドバイザーの継続的な指導を受け、アンケートによる実態把握、学校保健委員への講義、各校での教員対象研修と模擬授業、子どもたちへの授業、保護者対象講演会を行いました。



メディアと上手に付き合うために、子ども自身が考え納得できる家庭での約束づくりが大切だということが児童・生徒、保護者、学校に意識づけられました。『ノーマディア週間』でも利用の仕方について改善が見られました。
新潟県教育庁生涯学習推進課青少年家庭教育係 TEL 025-280-5617

深めよう 絆 にいがた県民会議では、いじめ見逃しゼロ県民運動を推進しています！

「いじめ見逃しゼロ県民運動」では、学校・家庭・地域が連携して、いじめの防止をめざしています。



＜主な活動＞
○いじめ見逃しゼロ県民の集い ○県民講座
○いじめ見逃しゼロキャラバン など
←詳しくは「新潟県いじめ対策ポータル」サイトをご覧ください！
https://www.ijimetaisaku.pref.niigata.lg.jp/

県民サポーターを募集しています！
いじめ問題に関心をもち、県民運動を応援する県民サポーターを募集しています。いじめ防止に関する様々な情報を発信しています。LINEにてご登録ください。(登録無料)



LINEでの登録はこちら

LINEではなく、メールでの登録もできます。下のQRコードから、空メールを送信してください。



↑メールでの登録はこちら

お問い合わせ先
新潟県教育庁生徒指導課 支援・相談班
TEL 025-280-5793

小・中学生総合補償制度ご加入のおすすめ

(団体総合生活保険)

新規加入受付中!!

3月19日(金) (第一次締切) までに加入 → 4月1日(木)から補償
4月23日(金) (第二次締切) までに加入 → 5月1日(土)から補償

特長 1

お子様が加害者に!?

示談代行付き(国内のみ)
個人賠償責任補償で安心!
支払限度額は最高1億円(P5・M5プラン)



お子様ご本人だけでなく、
家族やペットが起こした
賠償事故も補償

特長 2

お子様がケガ

学校内・放課後・通学途中・
部活動中・プライベートを問わず
24時間補償で安心!



細菌性食中毒・熱中症・
特定感染症も補償!

新型コロナウイルス感染症も特定
感染症危険補償特約で対象*1(後遺
障害・入院・通院)

「もしも」が起こった時に
大切なお子様を
24時間いつでもどこでも
お守りする
「備え」のご案内です

特長 3

幅広い補償

新型コロナウイルス感染症関連
肺炎も対象



病気で入院した場合の**医療補償**
(P5・M5プラン)



お子様の扶養者に
万が一のことが
あった場合の
育英費用補償
(P5・M5・Hプラン)

特長 4

1万人以上の加入で
団体割引等の適用により
約51%割安

1年間で年間掛金3,000円~加入できます

*1 2021年2月現在、新型コロナウイルス感染症は政令により一類感染症または二類感染症と同程度の措置が講じられている指定感染症ですので、「特定感染症危険補償特約」の補償対象となります。

簡単! ご加入手続きは記入・投函するだけ!

1月以降に学校から配布される**オレンジ色の封筒**をご確認ください。加入依頼書を記入しご返送ください。(切手不要)



各種補償制度の概要

傷害補償は他の制度の給付に関係なく保険金をお支払いします。(一部特約を除く)

| | 日本スポーツ振興センター 災害共済給付制度 | 小中学生 総合補償 制度 | PTA活動 補償制度 |
|--------------------------|--------------------------|------------------------------|-------------------------------|
| 補償される活動範囲 | 授業中 登下校中 | 24時間 | PTA活動中 |
| 保険の対象 | 児童・生徒 | 児童・生徒 個人賠償責任補償は 同居の家族も | 児童・生徒 保護者、先生、 趣旨に賛同する会員 |
| 加入の方法 | 学校一括加入 | 個人(任意加入) | 単位PTA一括加入 |
| 体育の授業中、手首を骨折した | ○ | ○ | × |
| PTA主催のお祭りでケガをした | × | ○ | ○ |
| 放課後、サッカーをしてケガをした | × | ○ | × |
| 自転車で他人にぶつかり、ケガをさせた | × | ○ | × |
| 放課後に野球をして近所の 窓ガラスを割った | × | ○ | × |
| 〇-157に感染し入院した | × | ○ | × |
| 疾病により入院した | × | ○ (P5・M5プランのみ) | × |

この広告は団体総合生活保険の概要についてご紹介したものです。ご加入にあたっては必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明点等がある場合には、代理店までお問い合わせください。

- 【幹事保険会社】 東京海上日動火災保険株式会社
- 【非幹事保険会社】 共栄火災海上保険株式会社
三井住友海上火災保険株式会社
損害保険ジャパン株式会社
AIG損害保険株式会社

● 制度に関するお問い合わせ先

一般社団法人 新潟県PTA安全互助会事務局
〒950-0965 新潟市中央区新光町7-2 新潟県商工会館 5F
TEL **025-280-0456** (受付時間/月曜~金曜 9:00 ~ 17:00)

【幹事代理店】 有限会社 新潟コーリン
〒950-0965 新潟市中央区新光町7-2 新潟県商工会館 5F
TEL **025-280-0361** (受付時間/月曜~金曜 9:00 ~ 17:00)